

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I 提案の履行状況に関する項目				
(1)施設の設置 目的及び管理 運営方針	【施設を管理運営する基本方針】 企業、大学、NPOとの協働による多彩な自主事業の展開で新規利用者を開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業については、昨年度からの継続事業に加え、新規事業も展開することで、施設の活性化及び新規利用者の開拓に努めていると評価できる。 ・今後も、複数年に渡り継続して実施している自主事業の経年の効果検証・分析等を実施し今後の事業計画に反映するなど、施設のさらなる活性化に努められたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の実施にあたっては、より戦略性をもって展開を行い、さらなる施設の活性化を図ることができるよう、指定管理者に要請する。 	ドーンセンターが広域拠点として担う役割を踏まえ、戦略性をもって事業を展開することで、さらなる施設の活性化を図る。
	利用者アンケート結果をサービスに反映	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、利用者アンケートを実施し、その結果を踏まえ、適切にサービスに反映させている点は評価できる。 ・今後も、引き続き利用者アンケートを実施し、その結果を踏まえ、適切な事業改善に努め、一層のサービス向上を図られたい。 	引き続き利用者アンケートを実施し、その結果を踏まえた適切な事業改善により、サービスの向上に努めるよう、指定管理者に要請する。	利用者アンケートを継続実施し、分析結果を踏まえ、適切な事業改善を行うことでサービスの向上に努める。
(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	全館規模の催し物を誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・全館規模のフェスティバルを大阪府及びOSAKA女性活躍推進会議と共催したことは、評価できる。本指定管理期間中に、指定管理者独自で、一定規模の催し物を企画すると伺っており、期待をしている 	指定管理期間中に実施する指定管理者独自の催し物を出来る限り早期に実施するとともに、大阪府が開催するフェスティバル等への積極的な参画を検討することを要請する。	指定管理期間中に実施する指定管理者独自の催し物を出来る限り早期に実施するとともに、大阪府が開催するフェスティバル等に積極的に参画する
	広報活動の強化と戦略的な営業	<ul style="list-style-type: none"> ・Facebookに加え今年度、新たにTwitterを開始し、SNS等で広報強化を図っている点や、また、新規利用者の動向分析に基づく取組など、集客に向けた取り組みに努めている点は評価ができる。 ・今後は、施設そのものの認知度向上に向けた取り組みの実施など、さらなる広報の拡充・強化を図り、引き続き、集客に努められたい。 	既に活用しているFacebookやTwitterの内容の充実などの広報強化に加え、施設そのものの認知度向上を図るべき取り組みの実施など、さらなる広報の拡充について、指定管理者へ要請する。	既存のFacebook、Twitterについては、内容の充実を図るとともに、フリーペーパー等の広報媒体の活用検討など、施設そのものの認知度向上を図るべき取り組みを実施する。
	・利用率・来館者数の増加目標を設定	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室等やPSの利用率について目標が達成できていないものの、新規利用者獲得のための様々な取り組みを行っている点は評価できる。 ・今後も引き続き、目標達成に向けた様々な創意・工夫を図られたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室等やPSの利用率について目標が達成できていないものの、新規利用者獲得のための様々な取り組みを行っている点は評価できる。 ・今後も引き続き、目標達成に向けた様々な創意・工夫を図られたい。 	目標達成に向けて、今後も様々な創意・工夫を検討・実施し、利用率の向上を図る。

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
(4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果	1階ロビースペースを情報発信拠点化	・1階ロビースペースのさらなる活性化に向けて、引き続き取り組んでいただきたい。	1階ロビースペースのさらなる活性化に向けた様々な取り組みの検討・実施を引き続き図るよう、指定管理者に要請する。	1階ロビースペースのさらなる活性化に向けて、自主事業の取組強化等、様々な検討・実施に努めていく。
	青少年育成を支援	・青少年関連の事業については、中高生の自習室開放や、青少年活動財団等との連携による事業など、青少年育成の支援への取り組みを行っている点は評価できる。 ・今後も、センターの設置目的の一つでもある、青少年育成への支援・取り組みに関する事業として、青少年が自由に活動できる場づくりにつながる事業や支援など、積極的な事業展開を図られたい。	青少年関連の事業については、大阪府との連携も視野に入れ、青少年の自由闊達な活動の場を提供する等、さらなる事業展開を図るよう、指定管理者に要請する。	大阪府との連携等により、青少年関連事業の積極的な展開を図る。
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目				
(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	人件費の節減	・人件費については昨年度より増加が認められるが、限られた予算の中で、適切な人員配置が実現できている点は評価ができる。 ・財政面において、人件費の節減が必要になる場合もあることは理解できるが、それに伴い、サービスの質を低下させることがないよう、今後も十分に注意されたい。	人件費の節減にあたっては、今後も、サービスを低下させることなく、適正に管理業務を遂行するよう、指定管理者に要請する。	人件費の節減にあたっては、サービスを低下させることなく、適正に管理業務を遂行する。
	利用料金の改定及び利用者の増加による料金収入等の増加	・利用を促進するための様々な取組を実施し、その結果等により、総収入が昨年度から増加したことは評価できる。 ・引き続き、会議室等の利用促進を図り、収入増に努められたい。	会議室等の利用促進については、さらなる工夫を行い、収入増に努めるよう、指定管理者に要請する。	会議室等の利用促進については、さらなる工夫を行い、収入増を図る。
(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・損失の状況 ・経常損失又は当期純損失の状況 ・キャッシュ・フローの状況 ・債務超過の状況 ・収入の状況（経年比較） ・借入依存度の状況（経年比較） 	・収支は、黒字の見込みとなるなど、安定的な運営が可能となる財政的基盤づくりがなされており評価できる。引き続きしっかりと取り組まれたい。	引き続き安定的な運営が可能となる財政的基盤を維持するよう、指定管理者に要請する。	必要に応じ大阪府へ収支状況等を報告するなど、引き続き安定的な運営が可能となる財政的基盤づくりに向けた意識を常にもって、管理業務を遂行する。